

2006年2月17日

---

# 2005年12月期 決算説明会

静岡ガス株式会社



# 目次

I 決算の概要	... 3
II 2006年12月期の見通し	... 14
III 今後の見通し 2006年～2008年	... 18
IV トピックス	... 28
清水エル・エヌ・ジー3号タンク増設	

## 配布資料

- |         |           |
|---------|-----------|
| ■ 説明用資料 | ■ 決算短信    |
| ■ 参考データ | ■ 会社案内等   |
|         | ■ アンケート用紙 |

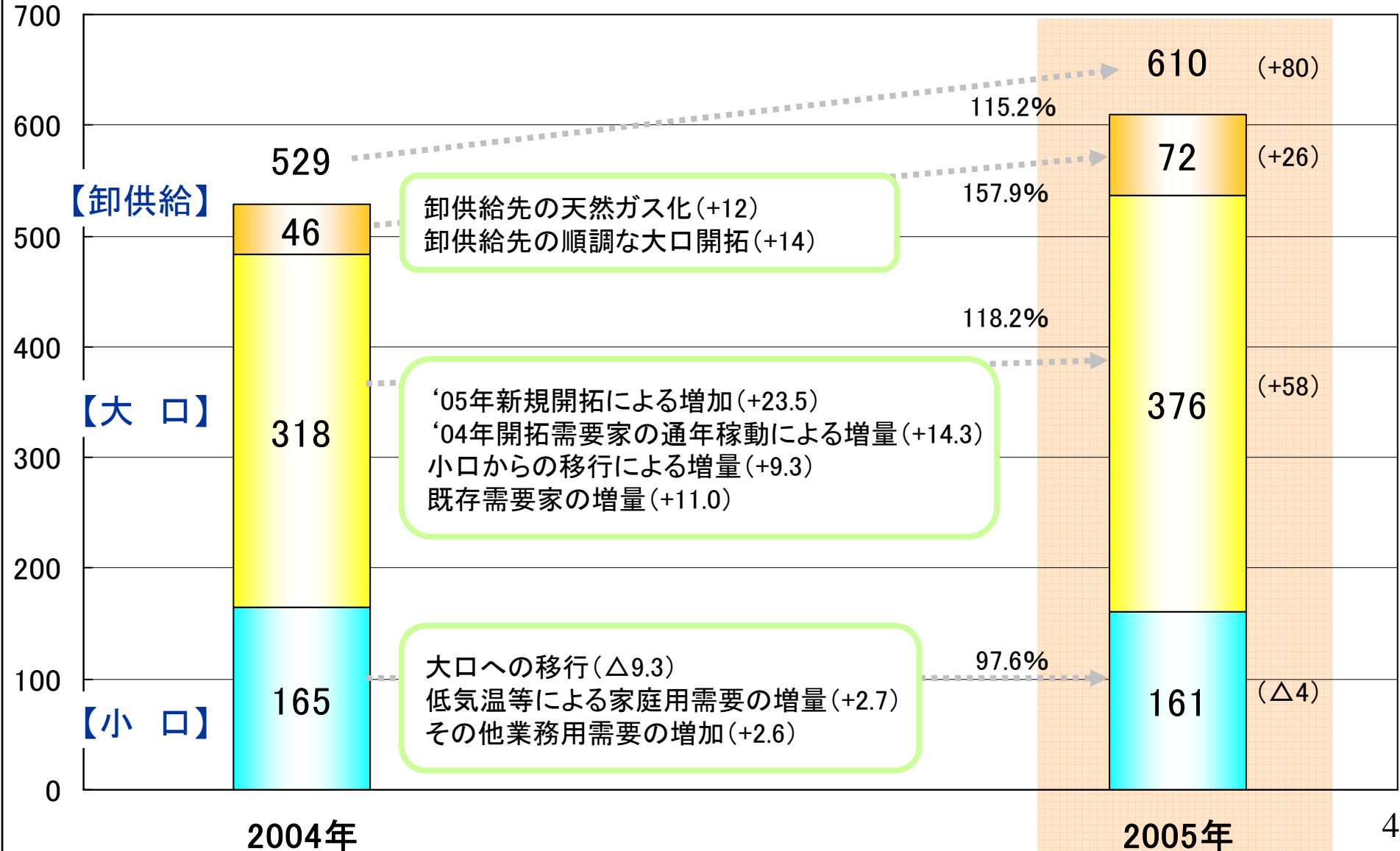
注意：本情報は、2006年2月17日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。経済・競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

# I 決算の概要

# ガス販売量実績(単体) 前期との比較

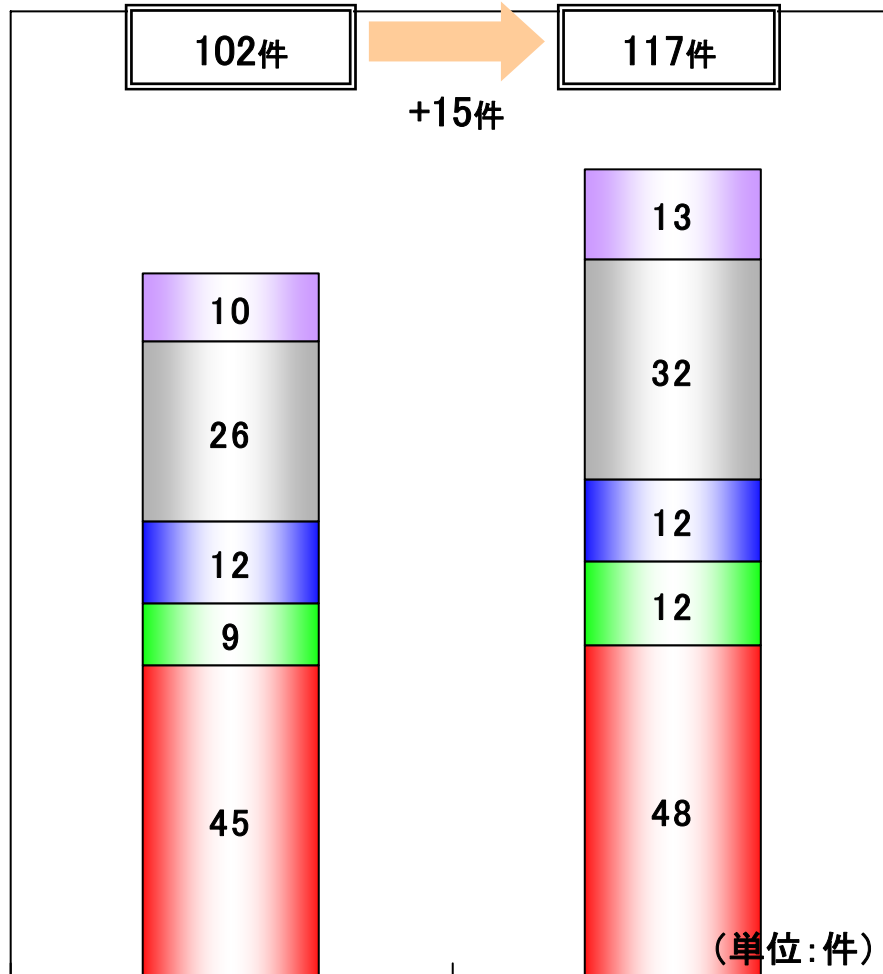
百万m<sup>3</sup> (45MJ)

( )内は、販売量増減(百万m<sup>3</sup>)を表示



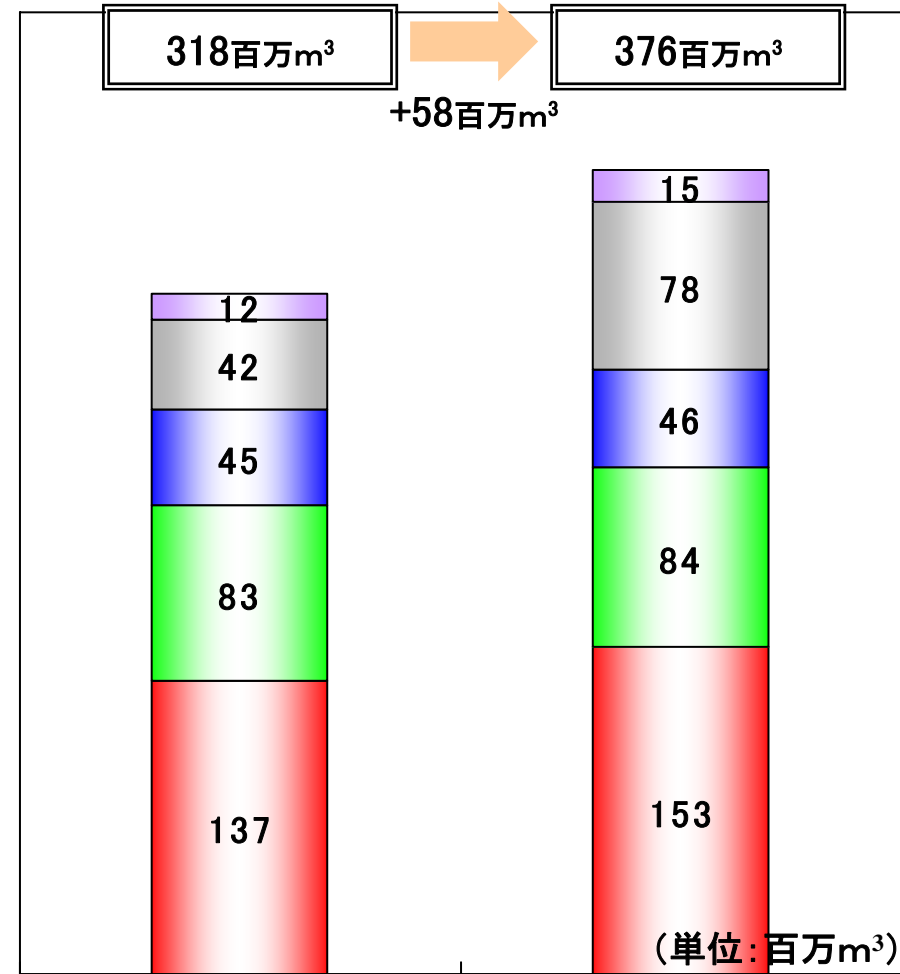
# 大口実績の推移

【件数】



【ガス販売量】

(百万m<sup>3</sup>未満四捨五入)

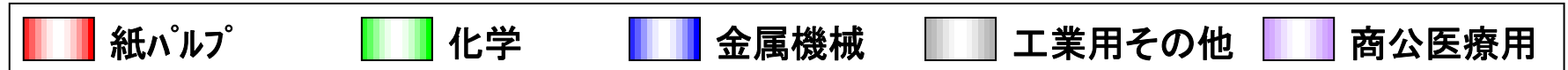


2004年12月

2005年12月

2004年1-12月

2005年1-12月

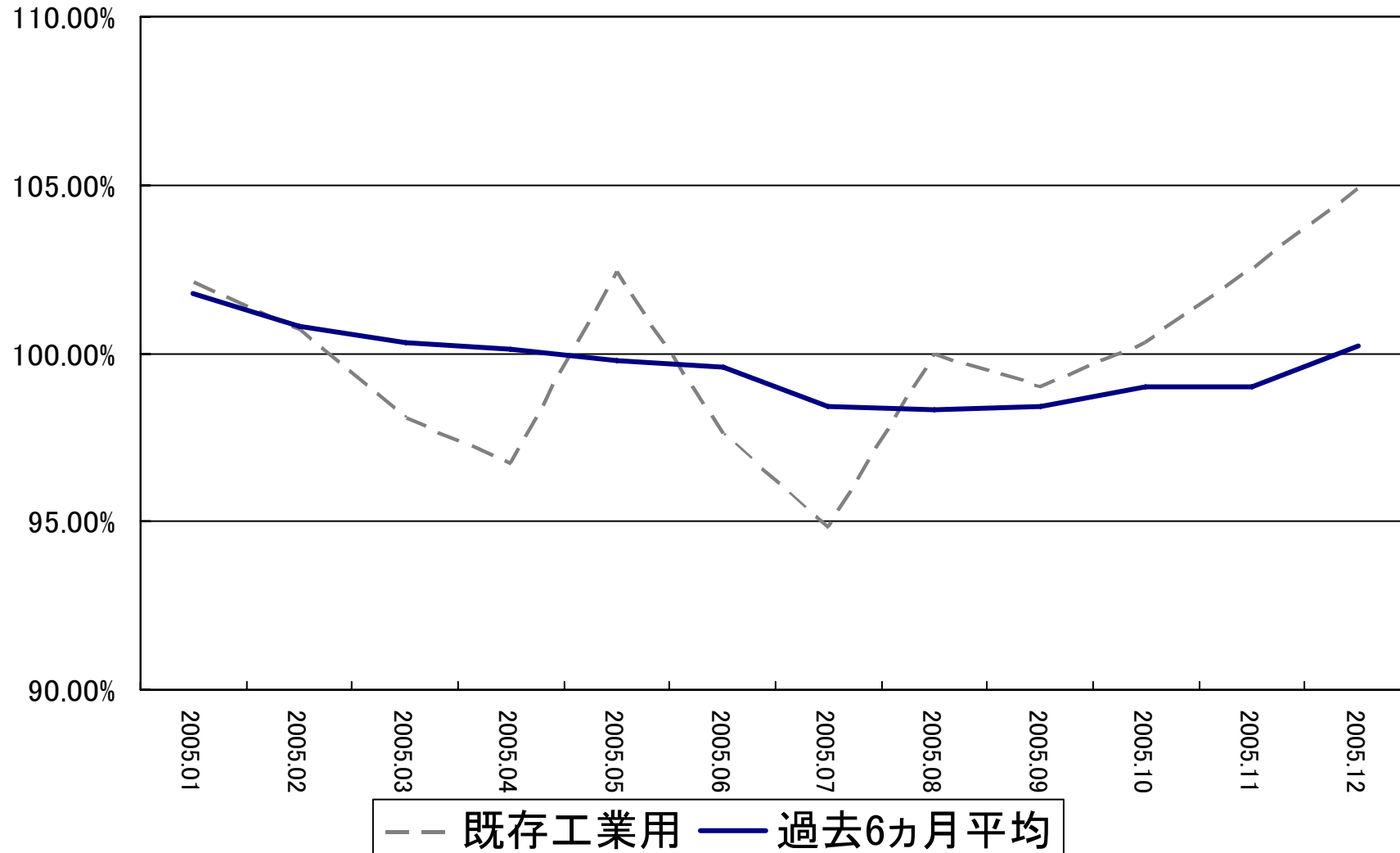


# ガス販売状況(単体)

	2005年実績	2004年実績	増 減	前期比
お客さま戸数 (戸)	313,236	308,905	+4,331	101.4%
ガス販売量 (千m <sup>3</sup> )	609,598	529,039	+80,559	115.2%
直 売 (千m <sup>3</sup> )	537,264	483,223	+54,041	111.2%
家庭用 (千m <sup>3</sup> )	95,684	92,959	+2,725	102.9%
商業用 (千m <sup>3</sup> )	30,842	29,617	+1,226	104.1%
工業用 (千m <sup>3</sup> )	376,372	328,224	+48,147	114.7%
その他用 (千m <sup>3</sup> )	34,367	32,423	+1,943	106.0%
卸 供 給 (千m <sup>3</sup> )	72,333	45,816	+26,518	157.9%
うち大口供給				
大口販売量 (千m <sup>3</sup> )	376,426	318,406	+58,019	118.2%
構 成 比 ( % )	61.7%	60.2%	—	—
コジェネ台数 (台)	43	27	+16	159.3%
コジェネ容量 (kW)	115,032	73,462	+41,570	156.6%

※大口供給:年間ガス使用量が50万m<sup>3</sup>以上のお客さまの使用量

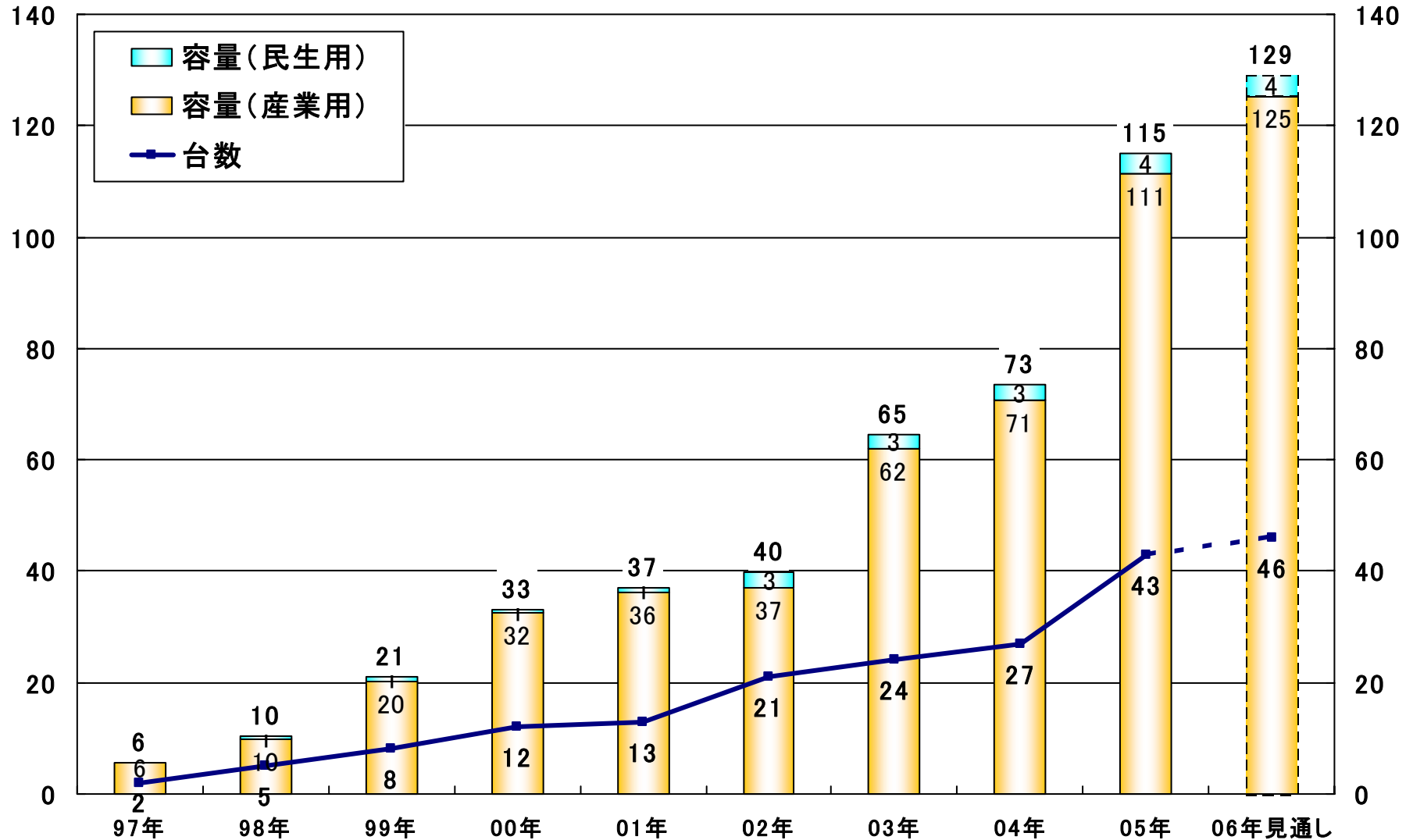
# 既存大口需要家の稼働状況



# コージェネレーション普及状況(大口部門)

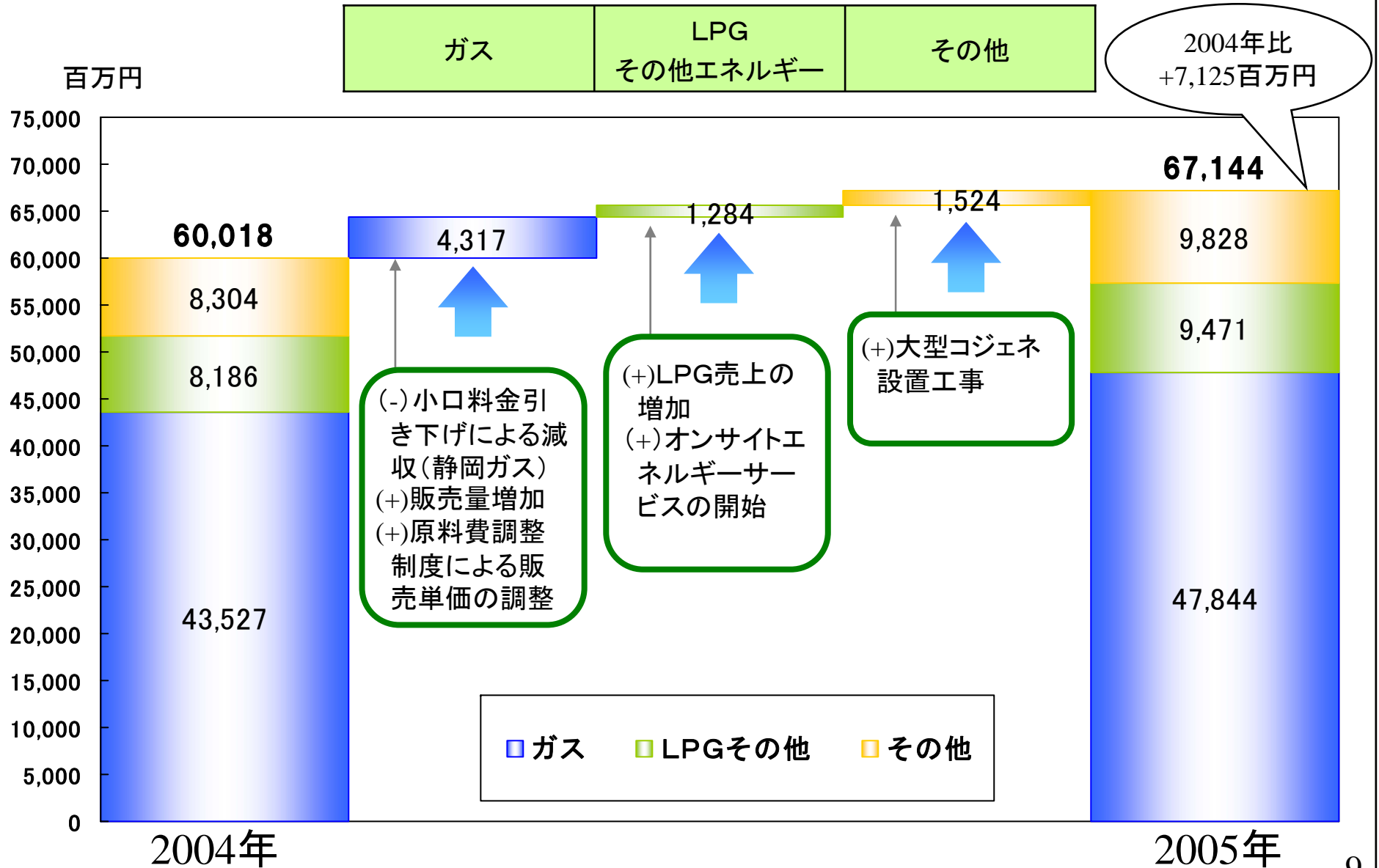
設備容量: 千kW

台数: 台



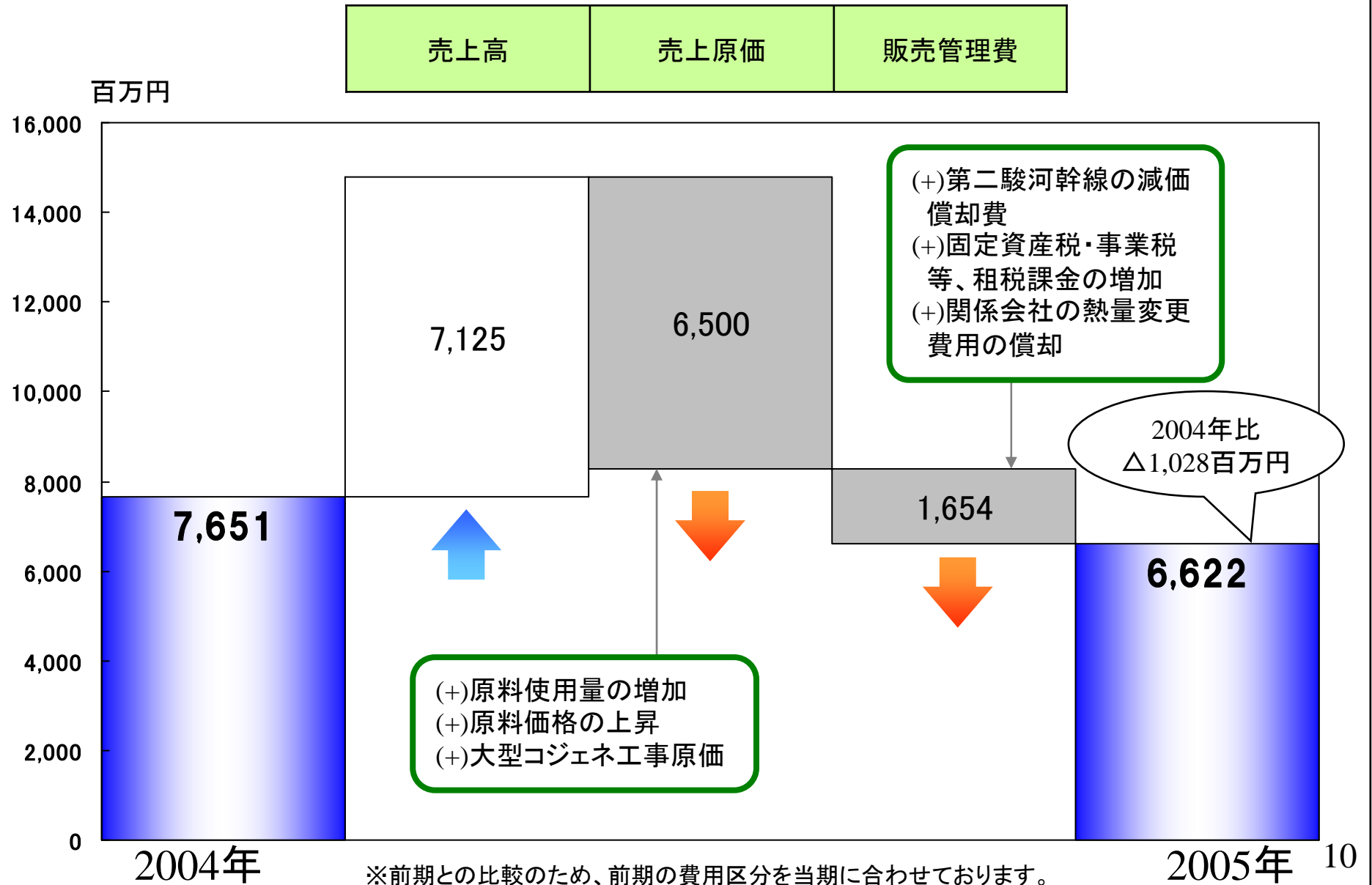


# 連結売上高(前期比較)



※外部顧客に対する売上高より算出しております。

# 連結営業利益(前期比較)



# 連結決算の総論

- ガス販売量は、堅調な大口需要開拓や低気温による需要の増加、卸供給の拡大等により、静岡ガス単体で前年同期比15.2%増加の6億1千万m<sup>3</sup>。連結では、15.0%増加の6億2千万m<sup>3</sup>。
- 連結ガス売上高は、1月に実施したガス料金引き下げの影響があるものの、ガス販売量の増加により、9.9%増の478億円。総売上高は、前期比11.9%増の671億円。
- 営業利益は、2004年7月に完成した「第二駿河幹線」の減価償却費の通期ベースでの計上により、前期比13.4%減の66億円。
- 経常利益は、前期比14.9%減の58億円。
- 当期純利益は、前期比14.6%減の31億円。
- 配当金は、前期に引き続き年間7円。
  
- 設備投資は、「第3号LNGタンク増設(2010年運用開始予定)」や天然ガス拡販のためのパイプライン整備を引き続き実施、前期比7.9%減の91億円。
- 有利子負債残高は、前期末比12.4%減の523億円。
- 公募増資により、約42億円調達。

# 収支の状況(連結)

	2005年実績	2004年実績	増減	前期比
売上高	67,144	60,018	+7,125	111.9%
売上原価	38,158	30,843	+7,315	123.7%
売上総利益	28,985	29,175	△190	99.3%
供給販売費及び一般管理費	22,362	21,523	+838	103.9%
うち諸給与・諸経費	14,909	14,650	+259	101.8%
うち減価償却費	7,452	6,873	+579	108.4%
営業利益	6,622	7,651	△1,028	86.6%
営業外損益	△ 735	△732	△ 3	100.4%
経常利益	5,887	6,919	△1,032	85.1%
特別損益	323	117	+205	274.9%
税金等調整前当期純利益	6,210	7,036	△ 826	88.3%
当期純利益	3,189	3,736	△ 546	85.4%
為替レート (円 / \$)	109.6	108.3	+1.3	101.2%
原油価格 CIF(JCC) (\$ / bbl)	51.0	36.4	+14.6	140.1%

# 設備投資等の実績(連結)

(単位:百万円)

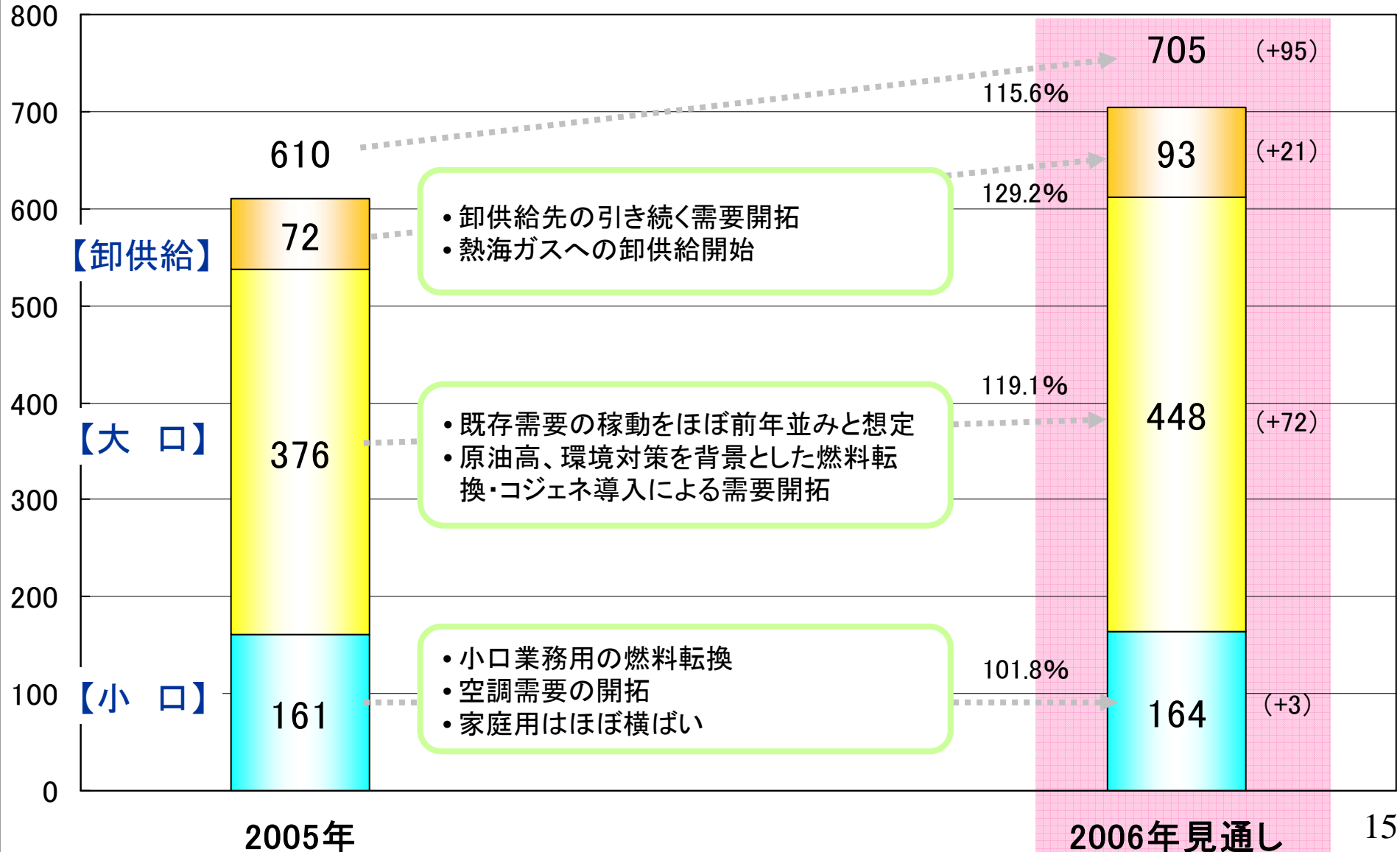
		2005年 実績	2004年 実績	増 減
設備投資等	設 備 投 資	9,104	9,888	△783
	減 価 償 却 費	10,990	10,272	+718
	有 利 子 負 債	52,335	59,734	△7,399
キャッシュ・フロー計算書	営 業 キャッシュ・フロー	16,040	14,169	1,870
	投 資 キャッシュ・フロー	△9,069	△10,729	1,660
	財 務 キャッシュ・フロー	△3,929	△3,231	△697
	現 金 ・ 現 金 同 等 物 の 増 減	3,042	208	2,834
	現 金 ・ 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高	8,572	5,529	3,042

## II 2006年12月期の見通し

# ガス販売量見通し(単体)

百万m<sup>3</sup>

( )内は、販売量増減(百万m<sup>3</sup>)を表示

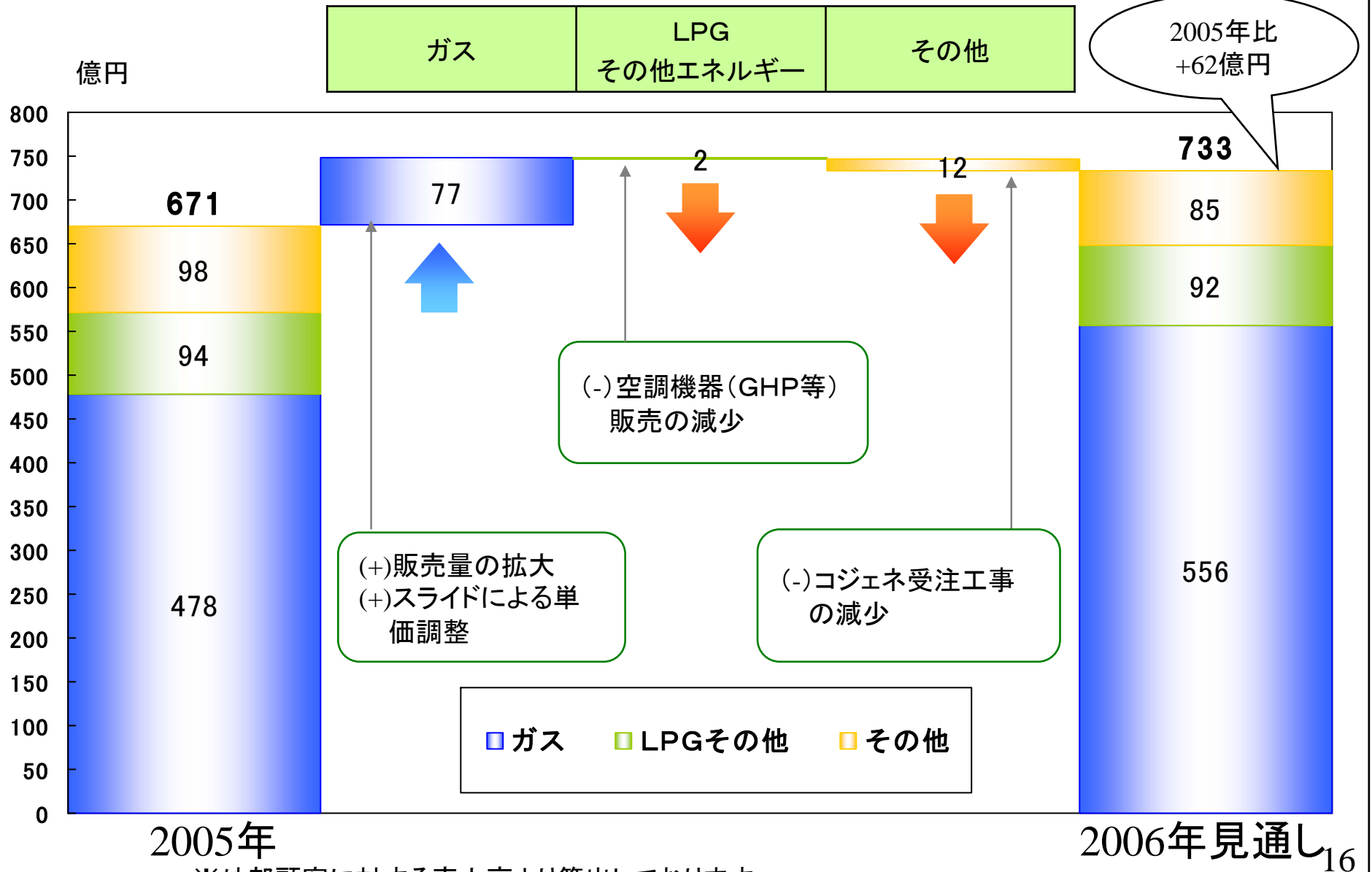


• 卸供給先の引き続き需要開拓  
• 熱海ガスへの卸供給開始

• 既存需要の稼動をほぼ前年並みと想定  
• 原油高、環境対策を背景とした燃料転換・コジェネ導入による需要開拓

• 小口業務用の燃料転換  
• 空調需要の開拓  
• 家庭用はほぼ横ばい

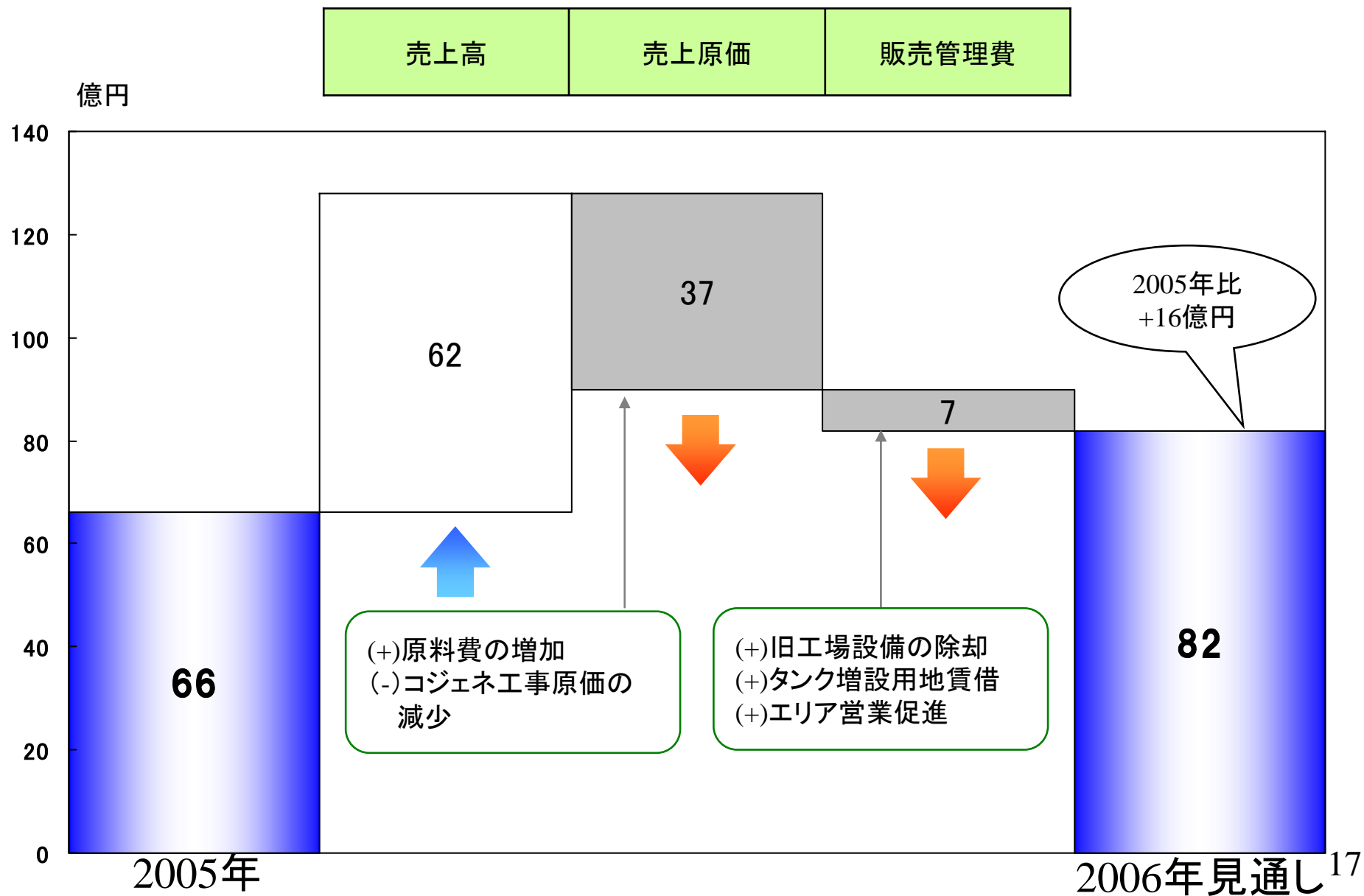
# 連結売上高見通し(前期比較)



※外部顧客に対する売上高より算出しております。



# 連結営業利益見通し(前期比較)



## III 今後の見通し 2006年-2008年

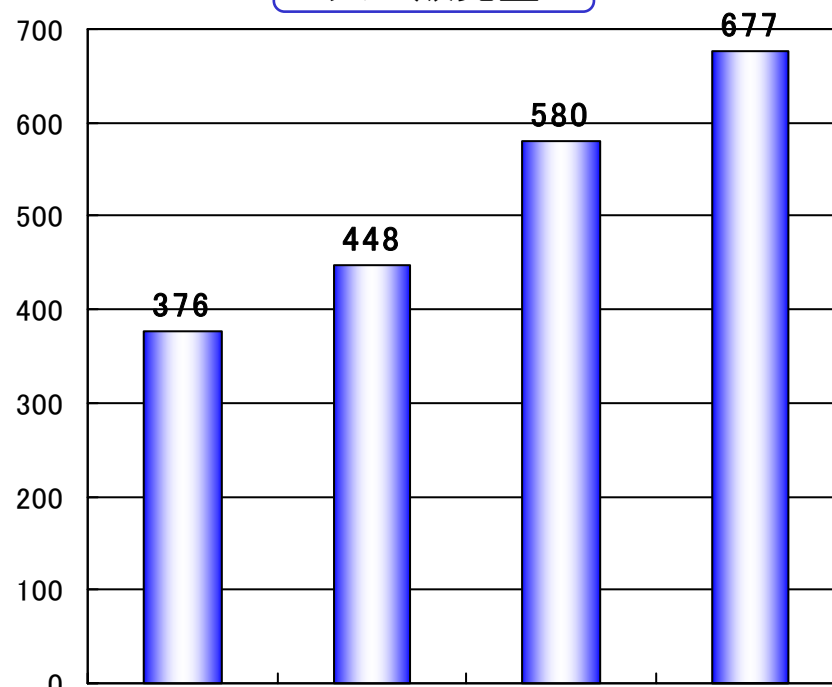
# ガス販売量の拡大に向けて

## 大口分野

- ▶CO<sub>2</sub>削減に向けた各企業の取り組みに呼応した天然ガスコージェネレーションシステムの提案や天然ガスへの燃料転換の促進
- ▶CO<sub>2</sub>削減や石油系燃料の価格高騰を背景とした大型燃料転換案件への対応
- ▶ガスコージェネレーションシステムの普及や天然ガスへの燃料転換を促進する補助金の活用
- ▶民生用ESCO事業の推進

百万m<sup>3</sup>

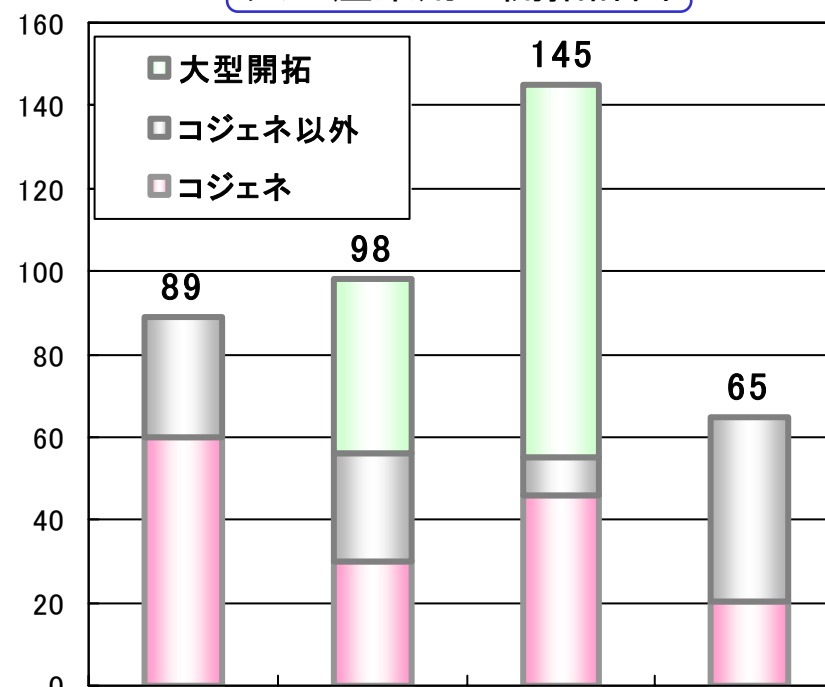
大口販売量



2005年実績 2006年計画 2007年計画 2008年計画

百万m<sup>3</sup>/年

大口産業用の開拓計画



2005年実績 2006年計画 2007年計画 2008年計画

# ガス販売量の拡大に向けて

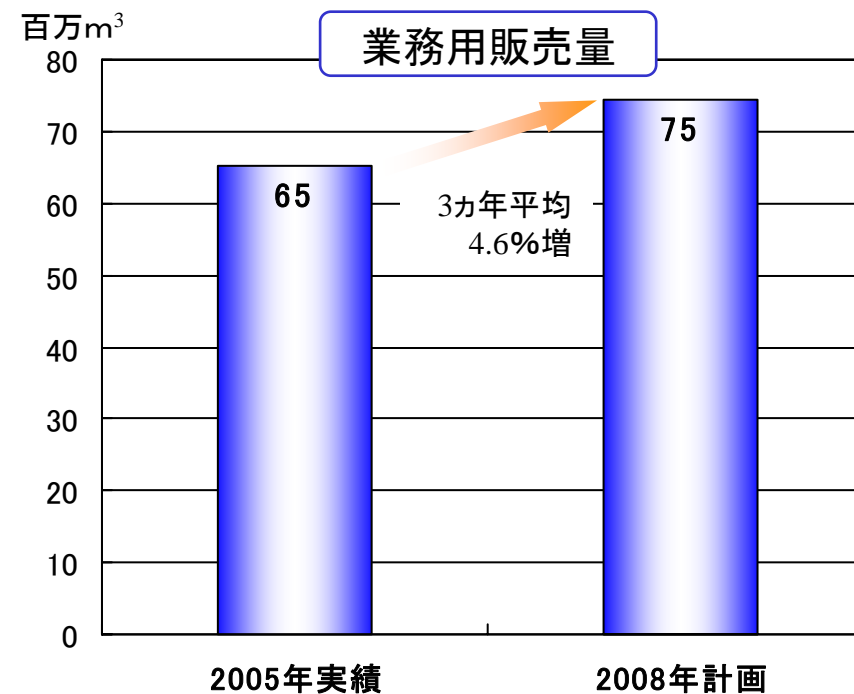
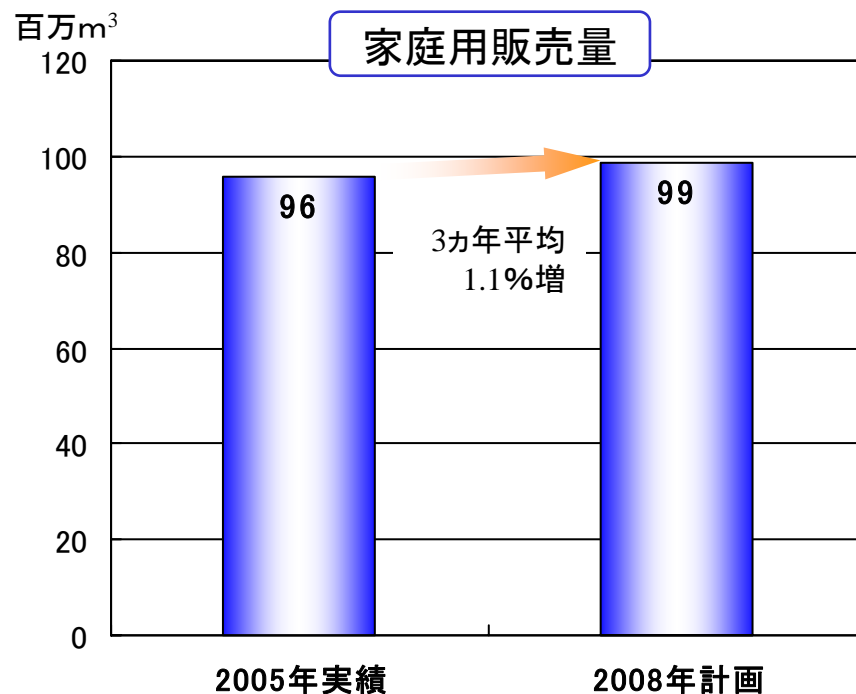
## 小口分野

### 家庭用

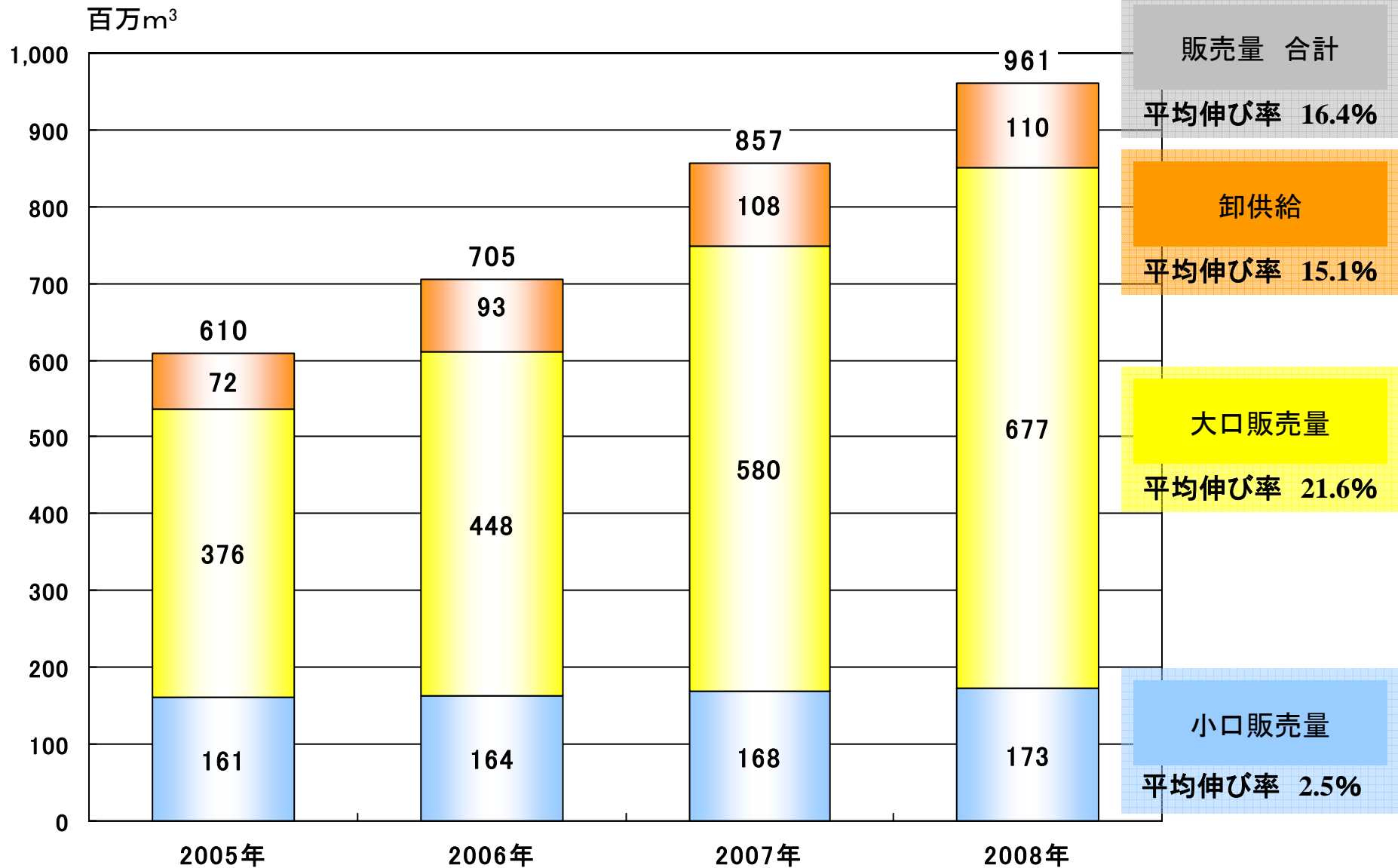
- ▶お客さまとの接点機会の拡大による電化阻止  
(「エリア営業体制」「ふれあい巡回」「ショールームの拡充」)
- ▶最新ガス機器による快適体感促進、食文化の訴求

### 業務用

- ▶重油・LPG価格高騰を背景とした燃料転換の促進(業務用GHP、ボイラーの転換)
- ▶空調営業の強化(GHPを中心とした新築物件の空調獲得、既築物件の都市ガス空調への転換)



# ガス販売目標(単体)



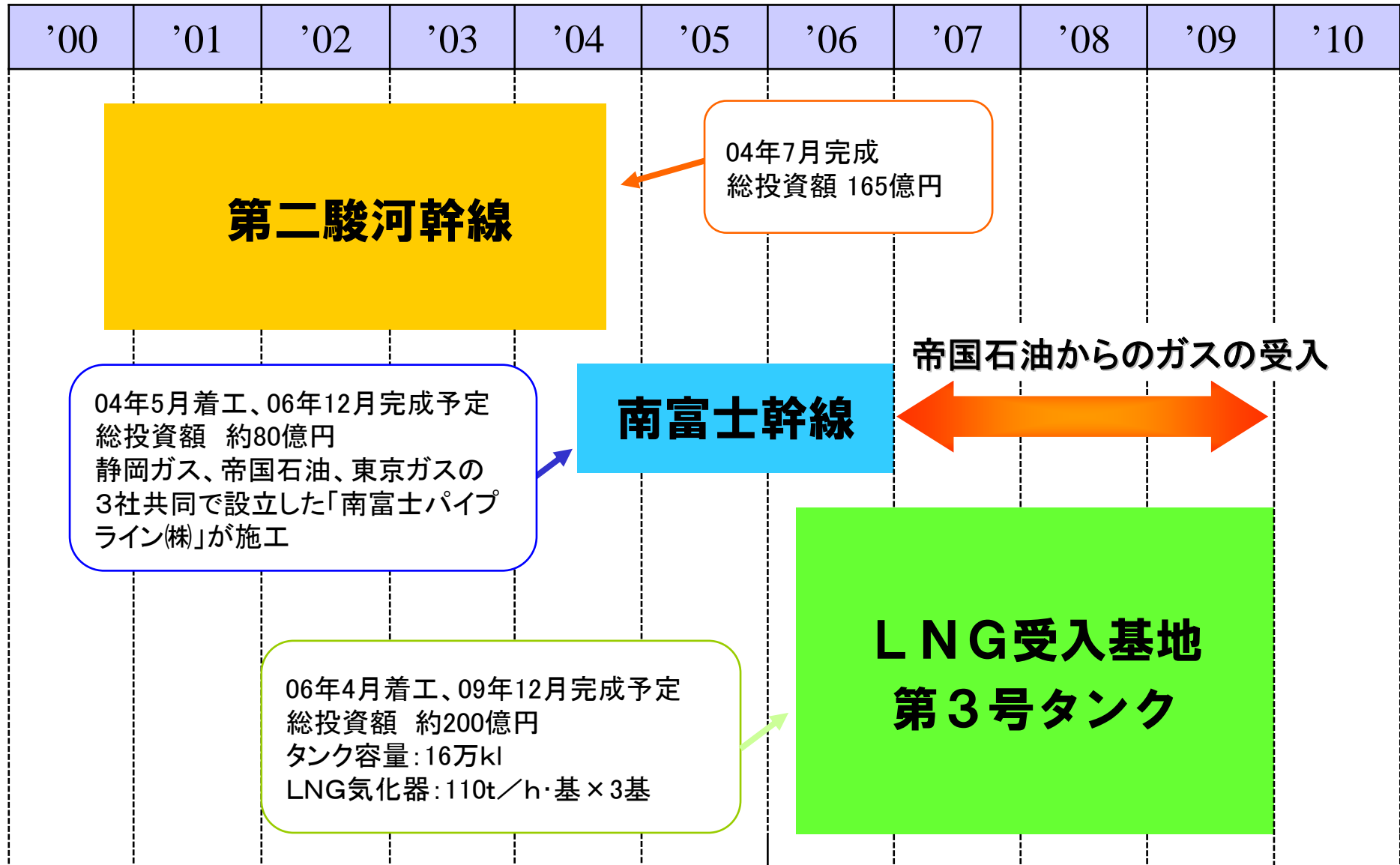
# 収支計画(連結:2006年~2008年)

(億円未満切捨て)

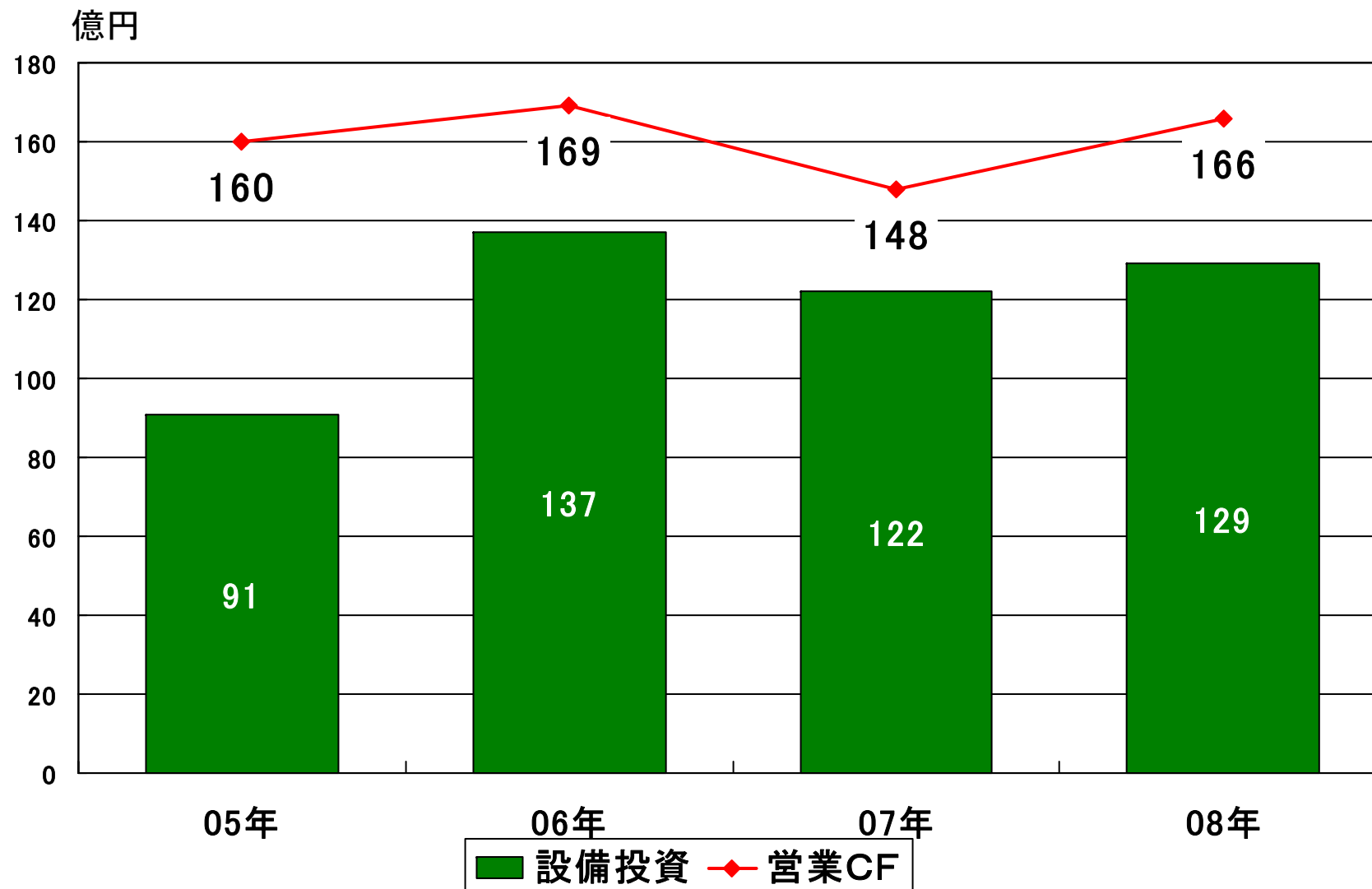
(単位:億円)

	2005年実績	2006年計画	2007年計画	2008年計画
売上高	671	733	796	861
売上原価	381	419	474	524
売上総利益	289	314	322	337
諸給与	84	86	94	99
諸経費	64	71	69	71
減価償却費 (うち第二駿河幹線)	74 (22)	73 (19)	73 (16)	74 (13)
営業利益	66	82	85	91
経常利益	58	75	77	83
当期純利益	31	42	43	45
為替レート(円/\$)	109.6	110.0	110.0	110.0
原油価格 CIF(JCC)(\$/bbl)	51.0	51.3	48.0	48.0

# 主要インフラの整備状況

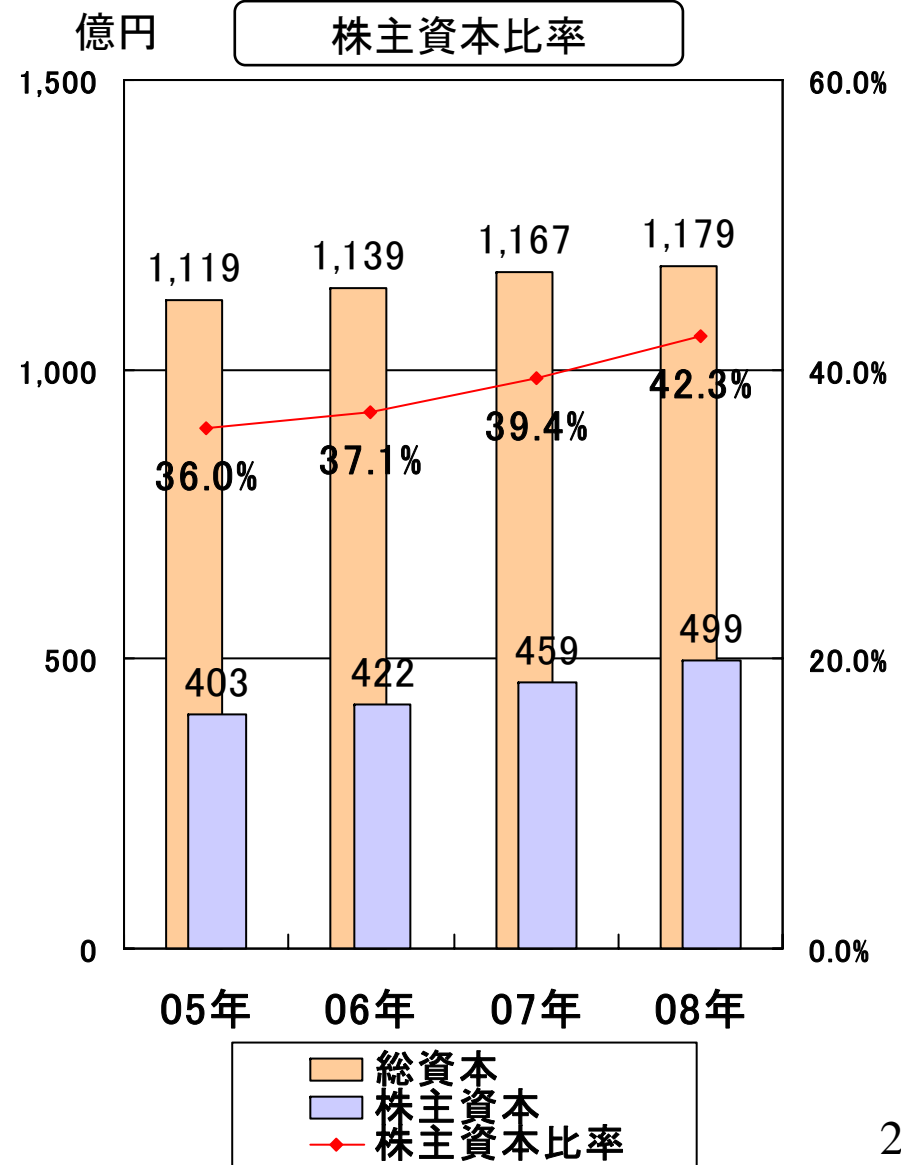
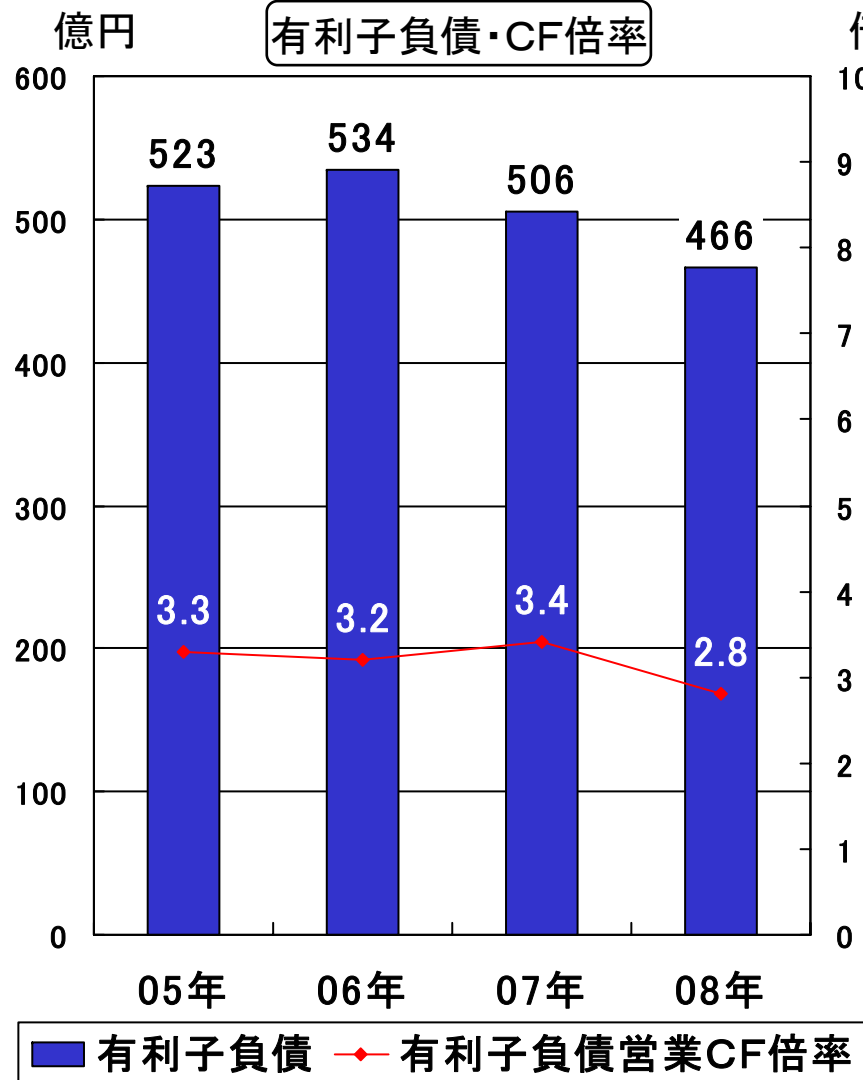


# 営業CF・設備投資(連結)





# 有利子負債・株主資本比率(連結)



# 主要な経営指標(連結)

	05年実績	06年計画	07年計画	08年計画
売上高営業利益率 (%)	9.9	11.3	10.7	10.6
ROA (%)	6.0	7.3	7.4	7.8
ROE (%)	8.9	10.2	9.8	9.4
株主資本比率 (%)	36.0	37.1	39.4	42.3
有利子負債依存率 (%)	46.7	46.9	43.4	39.5
1株当たり当期純利益 (円)	44.1	55.3	56.9	59.2

売上高営業利益率 = 営業利益 ÷ 売上高 × 100

ROA(総資本営業利益率) = 営業利益 ÷ 総資本(期中平均) × 100

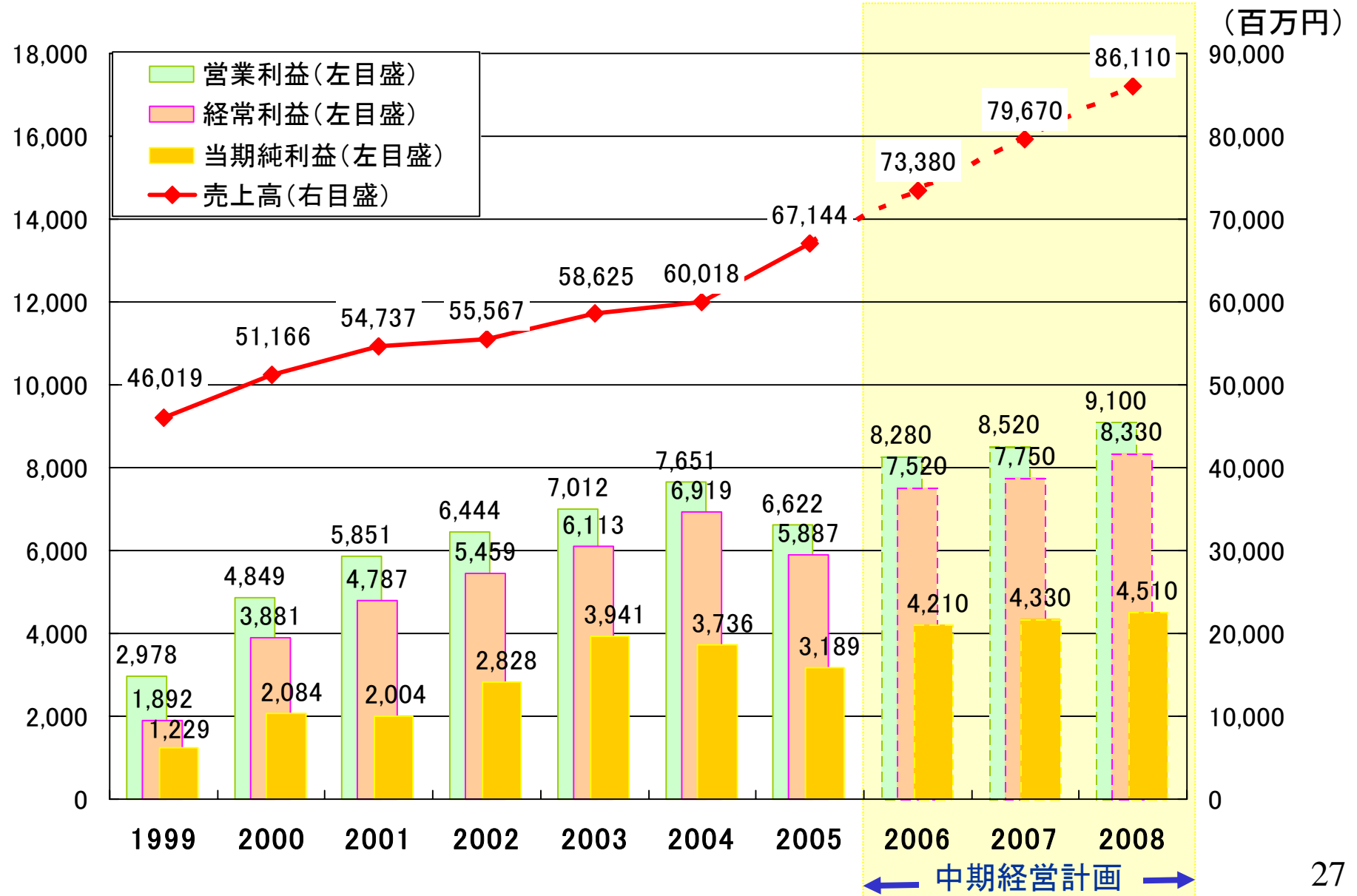
ROE(株主資本当期純利益率) = 当期純利益 ÷ 株主資本(期中平均) × 100

株主資本比率 = 株主資本 ÷ 総資本(期末)

有利子負債依存率 = 有利子負債 ÷ 総資本(期末)

1株当たり当期純利益 = 当期純利益 ÷ 発行済株式総数(期中平均)

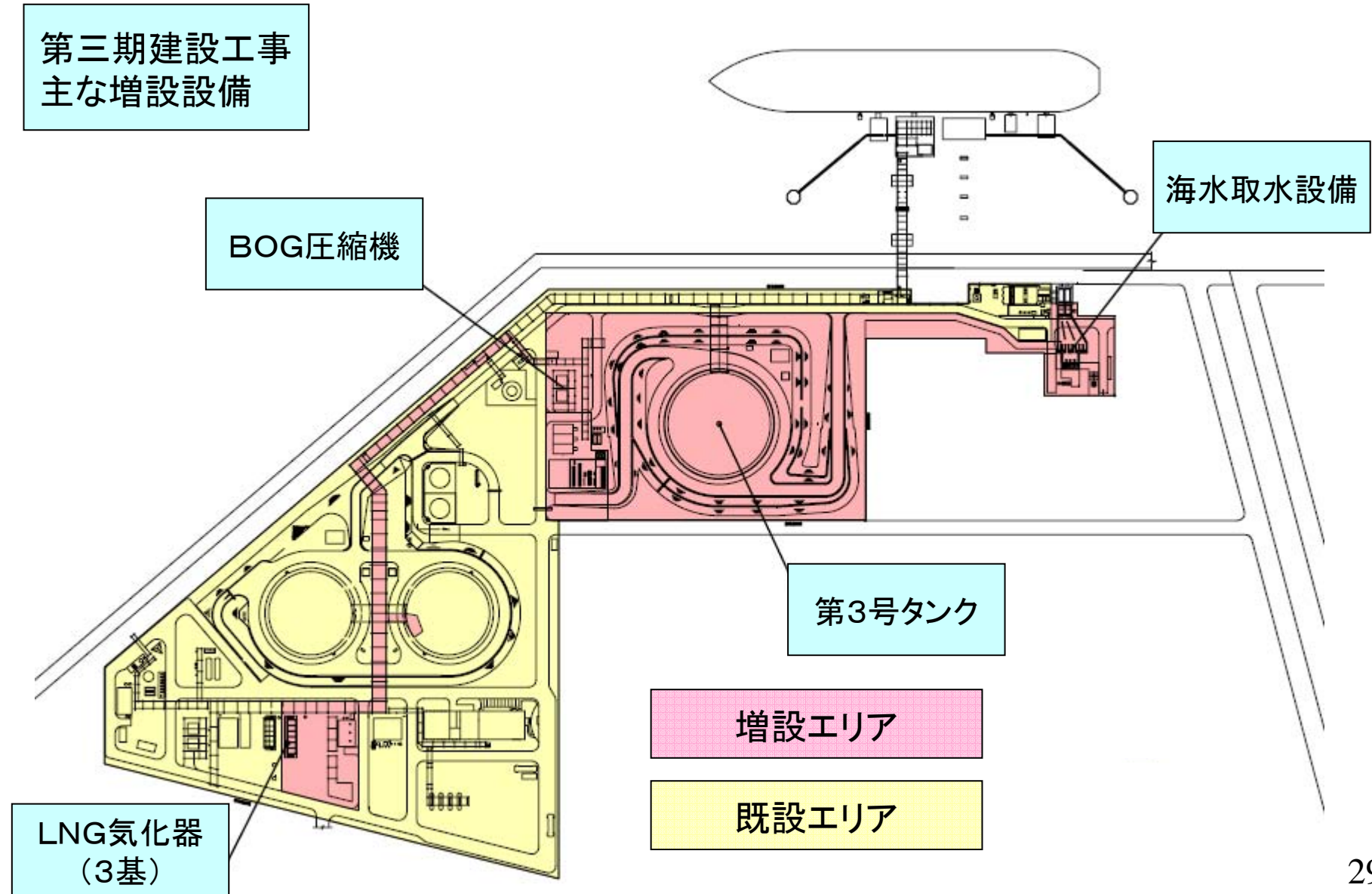
# 収支の見通し



## IV トピックス

# LNG基地の増設

第三期建設工事  
主な増設設備



# 設備増強の内容

◆総投資額 約200億円

・静岡ガス(株)	LNGタンク	約135億円
・清水エル・エヌ・ジー(株)	LNG気化器	約 65億円

◆工事日程

2006年(平成18年)	着工
2009年(平成21年)	LNG気化器 運用開始
2010年(平成22年)	LNGタンク 運用開始

	増設前	増設後
敷地面積	約89,000m <sup>2</sup>	約121,000m <sup>2</sup>
タンク容量	177,200kl (約8.2万トン)	337,200kl (約15.5万トン)
	1号 82,900kl	1号 82,900kl
	2号 94,300kl	2号 94,300kl 3号 160,000kl
都市ガス製造能力	約400万m <sup>3</sup> (45MJ)/日	約1,030万m <sup>3</sup> (45MJ)/日